



友好交流都市協定書に署名するユリアン・ナイデノフ（シリストラ）市長と大塚市長



平成28年9月14日 桜川市シリストラ訪問団が、ブルガリア共和国シリストラ市を訪問し、

# 友好交流都市協定を締結しました

桜川市・シリストラ市  
友好交流都市協定締結で  
今後の交流を約束

桜川市は9月14日、ブルガリア共和国シリストラ市と友好交流都市協定を締結しました。

本市とブルガリア共和国との繋がりは、旧岩瀬町時代に交流が始まったことがきっかけ。その後、ブルガリア彫刻展や、ブルガリア派遣などの交流を行い、昨年は、ブルガリア共和国のゲオルギ・ヴァシレフ駐日大使に桜川市市制施行10周年の式典に出席いただきました。

今回の訪問は、4月にブルガリア協会の総会に大塚市長が出席した際に、同大使からシリストラ市との友好交流都市協定の提案を受け実現しました。

桜川市シリストラ訪問団は、市長、市議会議員、区長、有識者で構成。団員は、市の発展に寄与したいとの思いで参加（自費）し、9月12日から17日までの行程で、ブルガリア共和国を訪問しました。訪問団は、12日深夜にブルガリアに向け出国。ドーハ国際

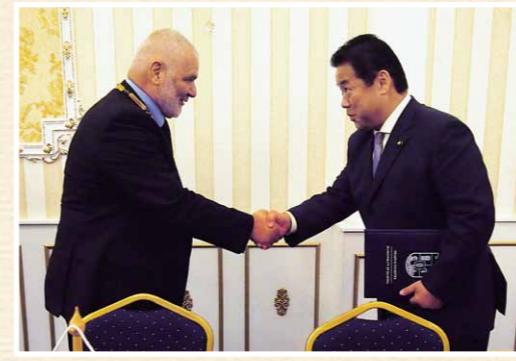
空港経由で13日夕方にシリストラ市に着き、関係者から歓迎を受けました。翌14日は、シリストラ市の催事に出席。その後、大塚市長とユリアン・ナイデノフ市長が相互理解と友好関係を一層深めていくことを確認し、友好交流都市協定書に署名しました。15日は、シリストラ市内の学校や幼稚園を訪問し、子ども達から踊りなどのおもてなしを受けました。その後、首都ソフィア市に移動し、同市内を視察。16日にソフィア市を出発し、17日夜に帰国しました。

また、9月26日には、ブルガリア共和国の青少年・スポーツ大臣等視察団が茨城県を訪問し、大塚市長と懇談しました。今後は、茨城県と連携を図り、東京五輪・パラリンピックに参加するブルガリア共和国の「ホストタウン」を視野に、事前キャンプ誘致や文化交流などを進めていきます。

- ① 写真キャプション
- ② 地元メディアから取材を受ける大塚市長
- ③ 訪問先の学校で歓迎を受ける大塚市長
- ④ 子ども達と民族舞踊を踊る訪問団
- ⑤ お遊戯で歓迎を受ける訪問団



シリストラ市の皆さんと交流を深める桜川市シリストラ訪問団



### シリストラ市の紹介

シリストラ市は、ブルガリア北西部のドナウ川沿いにあり、北はルーマニアとの国境にある市です。平地が多く、肥沃な土壌であるため、農業が盛んです。また、歴史的遺跡が現存する都市でもあります。人口規模は、およそ3万5千人です。